

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 リーディング・ライティング(advanced)		選択必修	1	1.2.3.4	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
ジェイソン・ディーン・スタージョン	C309	jsturjeon	水曜日 14:30-17:30		
授業の目的・概要	<p>目的：本授業では、基本的な英文の構造を理解したうえで、より高度なライティング技術を習得することを目的とする。パラグラフ単位でのライティングから短いエッセイや記事の作成へと発展させ、読者に伝わりやすい文章を書く力を養う。また、文体やトーンを適切に使分けすることで、学術的な文章、説得力のある文章、創造的な文章など、異なる場面に応じた表現力を身につける。</p> <p>概要：授業では、パラグラフ構成の復習を行い、トピックセンテンスやサポーティングセンテンスの役割を理解する。その後、短いエッセイや記事を作成し、適切な論理展開や表現を身につける。また、ライティングスタイルやトーンの違いについて学び、実際に異なる文体で文章を書く練習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	雑誌、新聞、Web 等を使い日ごろから英文を読む機会を増やすよう心がけること。自分にとって興味、関心のあるものや楽しめるものから始めることを推奨する。				
教科書	無し				
参考書	和英辞典・英和辞典				
外部教材	プリント配布する				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	異なるスタイルの英文を区別することができる。			HSU(2)	
②	様々な文体で短いエッセイや記事を書くことができる。			HSU(2)	
③	アウトライン(下書き用メモ)を作成し、有効的にライティングに活かすことができる。			HSU(2)	
④	パラグラフの書き方のルールを理解できる。			HSU(2)	
⑤	パラグラフの構成を意識した文を書くことができる。			HSU(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション、診断ライティングを実施し、授業の目的と評価基準について理解する。	講義	シラバスを確認し、授業の進め方を理解する	0.5	
2	パラグラフの構成を学び、トピックセンテンス、サポーティングセンテンス、結論の書き方を練習する。	講義・演習	簡単なパラグラフを書き、論理的な流れを確認する	1	
3	エッセイの基本構成(導入・本文・結論)を学習し、論理的な文章の組み立て方を練習する。	講義・演習	エッセイの下書きを作成し、構成を考える	0.5	
4	さまざまな文体(フォーマル・インフォーマル・学術的・創造的)を学び、適切な表現の選択方法を理解する。	講義	サンプル文を比較し、文体の違いを分析する	0.5	
5	雑誌記事の特徴を学び、読者を意識したライティングを練習する。	講義・演習	400字程度の短い記事を書き、適切な文体を用いる	1	
6	学術的な要約・アブストラクトの書き方を学習し、情報を簡潔にまとめる練習を行う。	講義・演習	要約文を作成し、要点を整理する	1	
7	コヒーレンス(文章の一貫性)とトランジション(論理的なつながり)を学び、適切な接続詞を使用する練習を行う。	講義・演習	短い段落を作成し、適切な接続表現を加える	1	
8	読者を意識したライティングの重要性を学び、異なる読者層向けに文章を適切に調整する練習を行う。	講義・演習	同じ内容を異なる文体で書き分ける	1	
9	説得力のあるライティングの技法を学び、論理的な主張を展開する練習を行う。	講義・演習	短い意見文を書き、説得力を強化する	1	
10	描写的ライティングのテクニックを学習し、具体的な表現方法を練習する。	講義・演習	描写を強化した文章を書き、イメージを明確にする	1	
11	ライティングの計画とアウトライン作成方法を学び、論理的な構成を考える練習を行う。	講義・演習	エッセイのアウトラインを作成し、アイデアを整理する	1	
12	推敲と編集の技法を学習し、文章をより明確で効果的にする方法を練習する。	講義・演習	自分の文章を校正し、適切な表現に修正する	1	
13	ライティングワークショップ I を実施し、400~600字のエッセイを作成する。	講義・演習	自由なテーマでエッセイを書き、文章の構成を意識する	1.5	
14	ライティングワークショップ II を実施し、エッセイを修正し、最終的な仕上げを行う。	講義・演習	文章を推敲し、適切な表現や構成を確認する	1.5	

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

15	総復習を行い、最終評価のためのエッセイを書き、習得したスキルを確認する。	講義・演習	期末エッセイを作成し、論理的な文章を書く力を確認する	1.5
試	評価のポイント参照			

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		40	60	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	22	40	0	0	0	62
	思考・推論・創造する力	3	0	0	0	0	3
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	6	5	0	0	0	11
	取組みの姿勢・意欲	9	15	0	0	0	24
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	試験：トピックを選択し、英語で少なくとも3つの段落で構成される短いエッセイを書く。評価：構造、正しい文法、トピックに適した内容、および正しい形式で書かれているかどうかを評価する。加点ポイント：全体の長さと言彙の選択(40%)	パラグラフの評価と添削
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
レポート	①	✓	レポート：雑誌記事の書き方、学術的なアブストラクトの書き方、説得力のある文章の書き方、説明的な文章の書き方の4つの課題が出される。加点ポイント：馴染みのない単語やフレーズを使用する試み、課されたテーマ以上の努力。(課題全部で科目評価の60%になる。各課題は15点満点。)	4つのレポートを評価、添削
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備考

他担当教員	なし
教員の実務経験	19年間日本で英語を教授しており、10年間は本学で英語教育に携わっている。
実践的授業の内容	

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

そ の 他	この科目は、前期開始前に実施したプレースメントテストで 50%以上を有することあるいはリーディング・ライティングを履修したことが履修の条件となる。シラバスに沿って授業は行われるが、学生のレベルに対応するため内容や時間等を変更する場合がある。尚、この授業の定員は 30 名とする。
-------	---